



三木市立三木特別支援学校
学校通信 No. 2
令和2年5月1日

学校教育目標

- ・校訓 自立 元気 ともに伸びる
- ・教育目標 一人一人が「輝き」、「主体的」に活動する児童生徒の育成

創立記念日 5月1日

本校は、昭和49年(1974)に三木養護学校として口吉川町殿畑に開校しました。5月1日に開校式が行われ、その日を創立記念日として制定しました。今年度は開校して47年目となります。開校当時の記録を見ていますと、4月末までは、職員作業で開校準備にご尽力されていたことが伺えます。また、授業が開始されたのは5月7日からと記されています。平成4年(1992)、志染町青山7丁目にある今の校舎に移りました。当時、私は自由が丘中学校に勤務しており校舎見学会に参加させていただきました。できたばかりの斬新な校舎に大変驚いたのを覚えています。平成19年(2007)、校名が三木養護学校から三木特別支援学校に変更となり現在に至っています。

本校は、現在ある兵庫県内の単一知的障害教育校(全20校)としては、昭和44年開校の神戸大学付属特別支援学校、昭和47年開校の神戸市立青陽東養護学校に次いで3番目に古い伝統ある学校です。昭和49年開校の単一知的障害教育校は他に、兵庫県立出石特別支援学校があるだけです。よき伝統を受け継ぎ、さらによりよい学校になりますよう努めて参ります。今年の5月1日は、新型コロナウイルスで大変な日となりましたが、みんなで乗り越えましょう。

三木北高等学校に感謝

4月21日、三木北高等学校の校長先生と教頭先生から「新型コロナウイルス対策として本校の職員がマスクを作りました。ぜひ、三木特別支援学校の児童生徒のみなさんに使っていただきたいと思います。」と手作りマスクをご持参いただきました。三木北高等学校には、本校の2大行事のふれあいフェスティバルと学習発表会でボランティアとして交流いただくなど大変お世話になっています。今回のマスクは、作成予定の生徒さん達の登校が不可能になったために、急遽予定を変更されて先生方が作成してくださったと伺いました。天日干しをし、一つ一つ丁寧に包まれたマスクには、「いっしょにがんばりましょう」など先生方の温かいメッセージが添えてありました。お世話になってばかりでお礼の言葉が見つかりません。早速その日に郵送させていただいたのですが、みなさんのお手元に届いていますか。新型コロナウイルスに負けないでくださいね。

このことが新聞に掲載され、青山地区自治会連合会の会長さんが新聞の切り抜き記事を丁寧にラミネートしたものをプレゼントしてくださいました。『すばらしい交流に感動』と書かれており、胸がジーンと熱くなりました。地域の学校として、大切にいただいていることがとてもうれしかったです。

校長 小林 義直